

## インフルエンザ定点(小児科定点を含む)

インフルエンザ: 報告数は52件(前月比 0. 2、前年同月比 0. 3)でした。本年の2月をピークに連続して減少しています。例年の季節性インフルエンザ発生状況と同様に、ほぼ収束しているものと推測されます。

※( )書きは1ヶ月の報告数を定点数で割った値。以下同じ。

## 小児科定点

※平成25年1月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が48医療機関から50医療機関に増えました。

(全体傾向) 報告数は3, 680件(前月比 0. 7、前年同月比 0. 7)と前月および前年に比し減少傾向です。ヘルパンギーナ(前月比 1. 3)が増加傾向にありますが、感染性胃腸炎(前月比 0. 5)、手足口病(前月比 0. 6)の減少が大きな減少理由です。感染性胃腸炎は例年と変わらない減少傾向ですが、手足口病は前年同月比0. 2と昨年のようなピークは見られていません。

(疾患別傾向)

## 1. RSウイルス感染症:

0件(前月比 -、前年同月比 -)と収束しています。この数年、8月頃より増加傾向にありますので今後の注意が必要です。

2. 咽頭結膜熱: 94件(前月比 0. 8、前年同月比 0. 8)で、前年と同様の傾向です。

3. A群溶連菌咽頭炎: 418件(前月比 0. 8、前年同月比 1. 2)で、例年同様、減少傾向にありますが、例年と比較し全国と同様にやや多い傾向にあります。菊池(19. 2)宇城(16. 3)からの報告が多いです。

4. 感染性胃腸炎: 1, 370件(前月比 0. 5、前年同月比 1. 1)で、本年1月をピークに減少傾向にあります。菊池(58. 8)有明(56. 4)人吉(45. 0)からの報告が多いです。1才にピークがあります。

5. 水痘: 222件(前月比 0. 9、前年同月比 0. 6)で、本年に入りほぼ横ばいですが、昨年より少ない傾向にあります。2~3才にピークがあります。

6. 手足口病: 319件(前月比 0. 6、前年同月比 0. 2)で、昨年の流行期と比べかなり少なく推移しています。有明(16. 6)からの報告が多いです。

7. 伝染性紅斑: 5件(前月比1. 3、前年同月比1. 0)で、昨年に引き続き少数の報告が続いています。

8. 突発性発疹症: 188件(前月比 1. 0、前年同月比 0. 9)でした。この3年間、通年性に発症の報告がありますが、やや夏に多い傾向があります。

9. 百日咳: 7件(前月比0. 9、前年同月比 -)で、すべて菊池からの報告です。定点あたりの報告数が1. 4と1. 0を超え警報レベルに達しています。年齢は10~14歳でした。昨年度は1年間で6件でしたが、本年はすでに6月までで25件となっています。

10. ヘルパンギーナ： 716件(前月比 1. 3、前年同月比 1. 5)で、昨年よりやや早くからピークを迎えています。菊池(47. 4)宇城(25. 3)からの報告が多いです。1才にピークがあります。
11. 流行性耳下腺炎： 43件(前月比 1. 0、前年同月比 1. 2)で、H23年よりずっと減少傾向にあります。全国的に4-5年ごとに大きな流行を繰り返しており、(H22-23)谷間の期間と考えられます。

## 眼科定点

1. 急性出血性結膜炎： 報告はありません。
2. 流行性角結膜炎： 報告数71件(前月比 0. 9、前年同月比 2. 1)と前月とほとんど増減がありませんが、昨年同月よりも増加しています。  
年齢別では20～59歳、70歳以上に多発していますが、乳幼児層での発生はほとんど見られません。地区別では、熊本61件、有明4件、天草6件の報告です。

## STD定点

※平成25年1月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が13医療機関から16医療機関に増えました。

1. 性器クラミジア感染症：報告数 72件(前月比 1. 3、前年比 1. 2)で、前月比、前年比ともに増加しています。男女別は、男性20件、女性52件で、女性に多く見られます。年齢は、男性は15～69歳に幅広く見られます。女性は15～54歳に見られますが、15～29歳に多く見られます。地域別は、熊本が44件、次いで八代11件、有明5件、御船4件、菊池、宇城各3件、人吉、天草各1件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症：  
報告数 15件(前月比 0. 9、前年比0. 7)で、前月比、前年比ともに減少しています。男女別は、男性6件、女性9件でした。年齢は、男性は25～70歳以上に見られ、女性は15～49歳に見られます。地域別は、熊本が8件、次いで菊池3件、宇城2件、御船、八代各1件でした。
3. 尖圭コンジローマ：報告数 5件(前月比 0. 6、前年比0. 7)で、前月比、前年比ともに減少しています。男女別は、全例が男性でした。年齢は、20～54歳に見られます。地域別は、八代3件、熊本、宇城各1件でした。
4. 淋菌感染症： 報告数28件(前月比0. 7、前年比1. 8)で前月比は減少し、前年比は増加しています。男女別は、男性22件、女性6件でした。年齢は、男性は20～59歳に見られ、女性は15～29歳にみられます。地域別は、熊本が21件、次いで有明4件、八代、宇城、天草各1件でした。

## 基幹定点

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎： 3件(前月比 -、前年比 -)の報告がありました。熊本3件で、年齢は65～69歳：1件、70歳以上：2件でした。
2. 無菌性髄膜炎： 3件(前月比 3. 0、前年比 3. 0)の報告がありました。熊本3件で、年齢は1～4歳：1件、

15～19歳:1件、70歳以上:1件でした。

3. マイコプラズマ肺炎:7件(前月比 1. 8、前年比 0. 6)の報告がありました。熊本3件、菊池1件、天草3件で、年齢は5～9歳:2件、15～19歳:1件、25～29歳:1件、40～44歳:1件、65～69歳:1件、70歳以上:1件でした。
4. クラミジア肺炎: 報告ありませんでした。(前月比 - 、前年比 - )
5. 感染性胃腸炎: 12件(前月比 0. 4、前年比 - )の報告がありました。熊本5件、水俣6件、人吉1件で、年齢は0歳:2件、1～4歳:9件、5～9歳:1件でした。  
(ロタウイルス)

#### (月報分)

##### 1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症:

24件(前月比1. 1、前年比1. 1)の報告がありました。

熊本17件、山鹿2件、阿蘇1件、八代2件、人吉1件、有明1件で、年齢は0歳:3件、55～59歳:1件、60～64歳:2件、65～69歳:1件、70歳以上:17件でした。

##### 2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症:

6件(前月比1. 0、前年比3. 0)の報告がありました。

熊本4件、八代1件、有明1件で、年齢は1～4歳:1件、5～9歳:1件、25～29歳:1件、60～64歳:1件、70歳以上:2件でした。

##### 3. 薬剤耐性緑膿菌感染症:

報告ありませんでした。(前月比 - 、前年比 - )

##### 4. 薬剤耐性アシネトバクター感染症:

報告ありませんでした。(前月比 - 、前年比 - )

### 届け出対象感染症

- 1類感染症: 報告はありませんでした。
- 2類感染症: 結核:33件
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症:3件
- 4類感染症: 日本紅斑熱:3件  
レジオネラ症:1件
- 5類感染症: アメーバ赤痢:2件  
劇症型溶血性レンサ球菌感染症:1件  
後天性免疫不全症候群:2件  
侵襲性肺炎球菌感染症:3件  
梅毒:1件